



富士見市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うさみん



発行人 会長 松本美信 編集 広報部会
問合せ 富士見市社会福祉協議会 TEL 254-0747

令和6年度 敬老事業実施

本年度も鶴瀬中央地区社会福祉協議会（以下 鶴瀬中央地区社協）の福祉委員の手によって富士見市の『敬老事業』が実施されました。

この事業は、市の補助金をもとに鶴瀬中央地区社協の資金を上乗せして実施しているものです。

実施方法としては、節目年齢（77歳、88歳、99歳）を迎えられた方々のお住まいを福祉委員が訪問し、お祝い品（補助金と対象者を勘案して四千元のお買物券）をお配りしました。

本年度の鶴瀬中央地区社協の対象となられた節目年齢の方は、186名（下表参照）でした。

日本の高齢化が急速に進んでいます。長寿社会の到来自体は、誠に喜ばしいことではありませんが、日本各地の市町村で財政事情から敬老事業を縮小・廃止す

る事例が起きています。富士見市においても『敬老事業』のあり方が岐路に立っているのは事実です。しかし“お年寄りを敬う”と言う原点に戻れば、祝い品の有無に関わらず、地域にお住まいの皆さまがご長寿で日々お過ごしになることの一助になることを目指して、鶴瀬中央地区社協では、今後も地域のさらなる福祉向上に努めてまいります。

小さなお子様からお年寄りまで、安心して幸せな日々を送ることが出来る地域を保つことが、私たち福祉委員の願いです。



令和6年度 鶴瀬中央地区社協内における敬老事業対象者人数

資料：富士見市役所 [令和6年6月1日現在データ]

町会名	77歳以上	外国人	計	節目年齢			計
				77歳	88歳	99歳	
羽沢二丁目町会	199	0	199	23	7	0	30
上沢一丁目町会	448	0	448	38	24	1	63
上沢二丁目町会	183	0	183	15	5	0	20
鶴瀬東一丁目町会	136	0	136	12	6	0	18
鶴瀬東二丁目北町会	206	0	206	20	3	0	23
鶴瀬東二丁目南町会	246	0	246	21	11	0	32
地区社協合計	1,418	0	1,418	129	56	1	186
富士見市全体	13,621	23	13,644	1,461	554	27	2,042

年齢対象者：1925年・1936年・1947年の9月15日までに生まれた方

読者からの奇稿

米寿を迎えて

鶴瀬東一丁目町会

片江 善和

この度は敬老祝いを戴き、ありがとうございます。

私は人見知りが強く、付き合い方も下手です。

私に何か出来ないかと考えて、私の趣味を活かす花作りのボランティアをしています。体が思う様に動かなくなってきた、グループの人に迷惑を掛けています。

今後とも一日一日を精一杯楽しみながら、生き続けたいと思います。

皆様も酷暑の折、体を大切にお過ごし下さいます様、お祈り申し上げます。

私の今昔

上沢一丁目町会

金子 茂

私は上沢一丁目生まれ育ちました。子供の頃には弁天橋の所に水車が有り、小魚が泳いでおり釣りもできました。又、冬になると近所の畑で扇風を上げて遊んだりして大変のどかな所でした。

高校を卒業して都内の医薬品問屋に就職し、多くのお得意様同僚に支えられ定年まで勤務しました。今でもその頃の友人たちと年数回会って昔話に花を咲かせています。現在は六人の孫たちに囲まれて地域活動に参加をして地域の皆さんと明るく仲良く元気に過ごしています。

米寿を迎えて

鶴瀬東二丁目南町会

くわはら 由一

この度は敬老の日のお祝いをいただきまして有難うございます。米寿と言われる年齢になりましたが、普段私はシルバー人材センターで午前中、週に5日1時間半から3時間程仕事をしています。草抜きや駐輪場の整理等です。

身体を動かすことや、町の人と話しをする関わり合い方が、私の元気の秘訣だと思えます。

自宅では食事も自分で作っています。車いす生活であった亡き妻から料理を習いました。以前より私は出来合いの物が口に合わないこともあって、仕事に弁当を作って持って行く日もありますが、男の料理です。

これからも働けることと、食事の大切さを教えてくれた妻に感謝しながら、日々健康に気を配り暮らしていきたいです。

今後の富士見市社会福祉協議会の活動

①「2024 ぱれっとあきまつり」

令和6年11月2日(土)

10時～15時

市民福祉活動センターぱれっと



②「令和6年度あいサポートイベント」

ペント

令和6年12月14日(土)

午後(予定)

鶴瀬コミュニティセンター

ホール

③「富士見市社会福祉大会」

令和7年2月22日(土)(予定)

鶴瀬コミュニティセンター

ホール



赤い羽根

駅頭募金実施

鶴瀬東二丁目南町会

浅井 孝

十月一日夕刻、地区社強の代表六名は鶴瀬駅東口駅頭で、募金活動に取り組みました。

お仕事帰りの方、学校帰りの学生さん、買い物帰りの方々が行き交う中で声を限りに募金を呼び掛けたところ、老若男女多くの方々から厚志を賜りました。中でも一番印象に残ったのは、ある男子高校生のことです。彼は、募金をお願いしていると告げると、その用途を尋ね、それならばと定期入れの中から千円札を取り出し募金箱に投函してくれました。

お忙しい中ご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。



高齢者部会からのお知らせ

令和6年度は、おおむね80歳以上の方を対象に「茶話会」は、下記の通り10月と11月に各町会で実施しました。

交流会は、令和7年の2月と3月に町会ごとに実施する予定となっております。

町会名	開催日	時間	会場名
鶴瀬東一丁目	11月2日(土)	午前10時30分	都市計画事務所
	内容：終活について(来迎寺住職さんの話)		
鶴瀬東二丁目南	10月31日(木)	午前10時	谷津会館
	内容：スチールギターの演奏(上沢一丁目の萩原様)		
鶴瀬東二丁目北	10月9日(水)	午前10時	鶴瀬東二丁目集会所
	内容：毎日元気にすごすために(ふじみ苑)		
羽沢二丁目	10月16日(水)	午前10時	羽沢二丁目集会所
	内容：紙芝居、絵本かたり、体操		
上沢一丁目	11月13日(水)	午前10時	上沢一丁目集会所
	内容：困った時の相談窓口について(包括支援センター)		
上沢二丁目	11月16日(土)	午前11時	上沢二丁目集会所
	内容：高齢者への犯罪対策について(富士見市)		

あいサポート運動 について調べてみ ました

鶴瀬東二丁目北町会

酒本 孝



あいサポート運動とは、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を、みんなでつくっていくこと、

平成21年に鳥取県で創

設され、全国的に展開している運動です。

富士見市では、その後に鳥取県と「あいサポート運動」の推進に関する協定を結びました。

この運動を通じて、市民が、様

々な障がいの特性を理解し、障がいのある人に温かく接し、障がいのある人が困っているときに、「ちよつとした配慮」の実践を目的としています。

あいサポーターとは、様々な障がいの特性や障がいのある人が、困っていることなど、それぞれに必要な配慮を理解し、日常生活で「ちよつとした配慮」を実践していく活動をする人のことを指します。

さらに、それらを通じて、共生社会を皆さんと一緒に作る運動を推進する方々のことも、あいサポーターといえます。

なお、あいサポーターになるための研修会は、事前申込が必要で、研修の会場と日時は、富士見市社会福祉協議会のホームページで、確認ができます。また、研修を受けると「ふわっぴー」が持っている「あいサポーターバッジ」が交付されます。

編集室だより

羽沢二丁目町会

荊木 隆二

突然片方の耳が聞こえにくくなったことはありませんか？

今年5月の中旬、耳かきと綿棒で耳掃除をしていた時、突然左耳が聞こえなくなりました。

以前にも同じ現象が起こり、およそ一週間そのままにしておいたところ、自然にもとに戻り聞こえるようになりました。

今回もそれと同じで、高をくくっておいたところ、一向に治らず、左側からの話し声、電話、イヤホンは聞こえず、不便きわまりない状態でした。

そこで、「加齢性難聴」と診断されるのを覚悟で、市内のI総合病院耳鼻科に行きました。

診察室で医師に対し、「綿棒を使って耳かきをしていたら、突然左耳が聞こえなくなりました」と伝えたところ、医師は、「正常な右耳を見せて下さい。耳垢を確認します…少しありますね。今度は左耳を見ます…あつ！たくさん耳垢が詰まっています。これらを取り出します。」と左耳に詰まった耳垢を全部掻き出すこと約10分。掻き出した耳垢は黒色で小さいビー玉くらいの大きさでした。

医師曰く「これで聞こえるようになります。他の検査は必要 değildir…良くあるのです。綿棒を使って耳掃除をしているつもりが、耳垢を押し込んで詰まって、聞こえにくくなる患者さんが…」

恥ずかしく思っていたところ、それを聞いて少し救われた思いでした。

今回の症例とは別に、「真珠腫」なる耳の病気があり、それは少し厄介なもので、手術が必要な場合があるとのことでした。